



外国人看護師と病院をサポートする団体の広報誌

海越えて を



ベトナム・フエ医科大学
での面接の様子
ベトナム看護学生
ファム ティ アイ シン さん

 **特集①** 慢性化する介護職員不足の解消に向けての取り組みがスタート

外国人介護人材プロジェクト始動

 **特集②** 協会の質向上へ

事務部会・看護部会 発足

 **特別寄稿** 医療法人社団永生会理事長 安藤高夫氏

医療人材国際交流協会への期待と激励

外国人介護人材プロジェクト始動

慢性化する人手不足を解消する手段として、2017年9月に施行された改正入管難民法により、介護福祉士の資格を持つ外国人への在留資格が認められました。さらに11月に外国人技能実習制度の対象に「介護」が加わり、介護業界での外国人材の活用に今までにない期待が高まっています。当協会においても、会員病院より寄せられる期待に応えるべく、そして、医療・看護と密接な関係にある介護の分野においても、外国人材が活躍できるよう「外国人介護人材プロジェクト」が始動いたしました。発起人である、新日本学院理事長の畢煜氏をはじめ、関係者にこのプロジェクトの背景や目指す未来について話を伺いました。



写真:左より、伊東重治氏・今村七海氏・畢煜氏

対談メンバー ※敬称略

・畢煜 ビリ……新日本学院理事長／
医療人材国際交流協会 代表理事

・今村七海……外国人介護人材プロジェクト
現地担当

・伊東重治……新日本学院 就職支援課主任

日本国内の介護の担い手不足とプロジェクト立ち上げの背景

畢煜…日本国内では25年度に介護職員が約38万人不足するとみられ、人手不足が深刻化しています。

在留資格「介護」が創設され、当協会会員病院の施設から外国人介護人材への要望や期待の声が多く寄せられるようになり、当協会がどのように支援できるか検討を重ね、会員学校・会員病院及び施設、そして連携先であるベトナム等海外の教育施設など、全てのコア・コンピタンスを集結し、この度プロジェクトの立ち上げとなりました。

高度教育を受けた優秀な人材確保のための奨学金制度の構築

畢煜…国による制度の整備が進む中、看護師プロジェクト同様に優秀な人材を確保できるかが、このプロジェクトの成功の鍵になると思います。幸いなことに我々はベトナム人看護師育成プロジェクトを通じて、現地のいくつかの医療系の大学及び短期大学と提

携を結び、独自のルートで学生の募集を行っています。そのため、介護の分野に關しても、大卒者の募集が可能です。

今村…ベトナムは労働人口があまりに多く、大学を卒業しても国内で就職できないという事態が起きています。そのため、一流大学の学生でも、機会があれば日本に來たいという人は多いです。介護福祉士の資格を取って日本で就労することは勿論のこと、最低賃金とはいえ日本人と同じ給与が保証される技能実習生としての来日を希望する学生も急激に増えています。ただ、いずれも来日前に一定の日本語能力を身につけなければならず、その学習費用を自分で負担するとなると躊躇する人が多くいることも事実です。また送り出し機関のほとんどは営利目的であり、国内で就職先を探すことができる優秀な学生は、高い手数料を払い借金を背負ってまで日本に來ません。

畢煜…このような課題を解決するため、奨学金制度は大変有効だと考えています。我々の看護師プロジェクトでは会員病院と協力して奨学金制度を構築し、これまでに100を超す外国人看護師の日本での就労を実現してきました。同様に、介護人材を受け入れる学校・病院及び施設が一定の資金を拠出することにより、優秀な人材が日本で安心して介護士を目指すことができ

る奨学金制度を構築することが可能だと考えています。

伊東…介護人材を受け入れる施設が資金を拠出することで外国人介護人材の定着を促すことができることは、看護師の例だけでなく、介護士においても事例で見ることができ、例えば、地方自治体によっては、介護福祉士を目指し学習する学生に対し奨学金を支給し、卒業後その地域で継続して5年間介護等の業務に従事した場合は返還が免除される等の制度がすでに運用されています。

外国人介護人材とマネージメント人材の組み合わせで相乗効果が期待できる

畢煜…施設における外国人介護人材の受入れルートとして、日本の専門学校等の養成施設を卒業した留学生を採用する方法と、技能実習生を受け入れる方法の二つがあります。どちらのルートにおいても、日本語教育は大変重要であり、求められる日本語力を身につけることが日本語学校の責務です。

伊東…現在、3年の実務経験後に国家試験に合格すれば継続的に日本で就労可能とする案が厚労省で検討されていますが、このように外国人が介護士になる道が広がると、例えば高校の卒業資格しか持たない留学生にも機会がで、介護業界での外国人材の活用にあ

らに拍車がかかると思われます。一方で、受入れ側としては、言葉・コミュニケーション・生活の面で外国人介護人材をマネージメントできる外国人人材が必要になるという課題も出てくるのではないのでしょうか。

今村…その通りだと思います。外国人介護士を直ちに日本人介護士と同レベルの戦力として期待するのは難しいので、それを活用するマネージメントが受入施設において大変重要になってきます。日本の看護師資格の取得には日本語能力N1の資格が求められますが、学生の中には、2年間日本で日本語を勉強しても残念ながらN2にとどまる学生もいます。しかし、N2であっても十分な会話力を持ち日本の生活に順応する学生もいます。それらの学生を、外国人材の特性が分かり、かつ看護や介護の知識・スキルのあるマネージメント担当として育成することを検討しています。

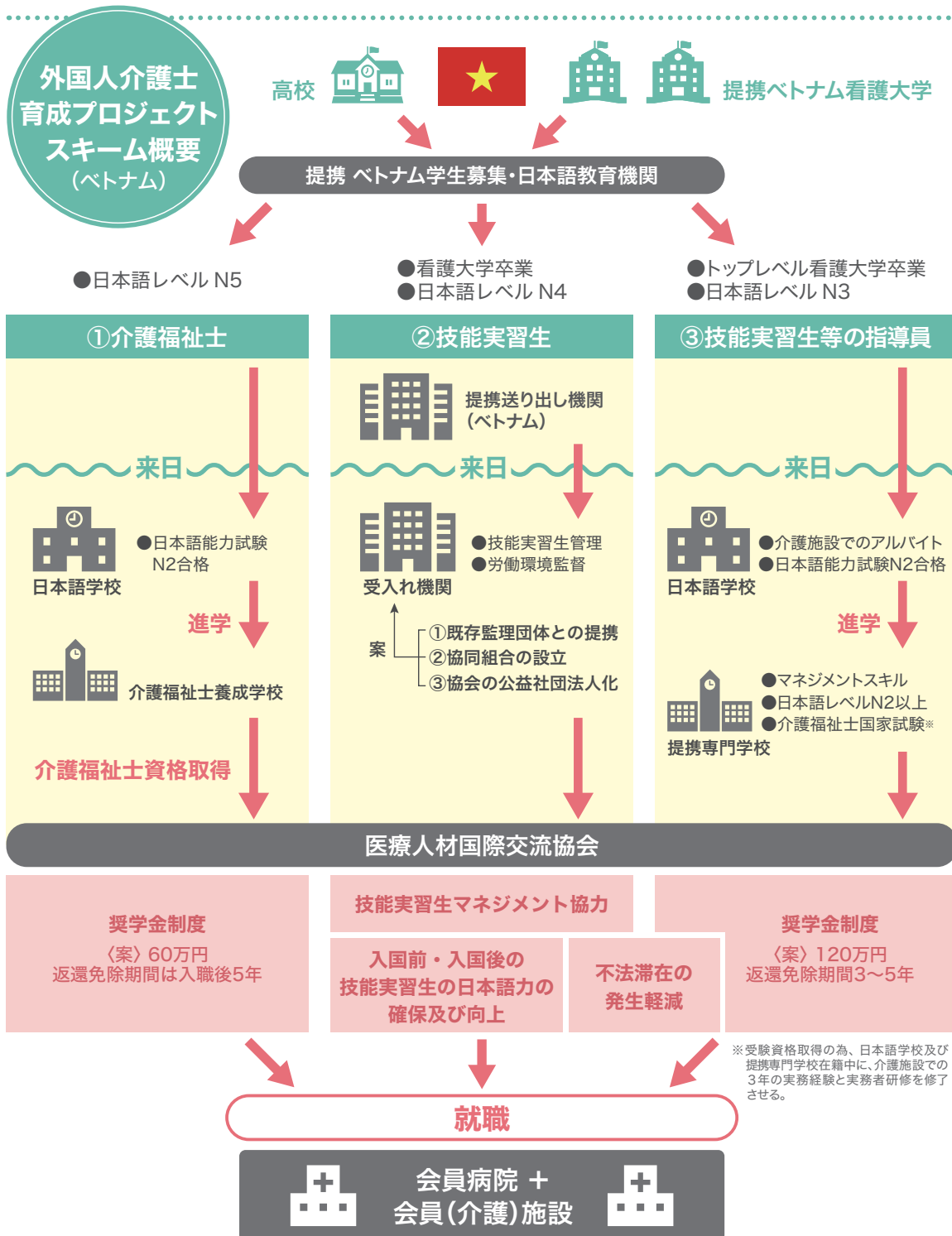
外国人介護人材の安定的な供給と定着に向けて

畢煜…当協会では、現在、技能実習生の受入れの準備を進めています。国内の監理団体の設立等課題はありますが、今まで培ってきた優秀な学生募集のルート、日本語教育および日本社会の文化・習慣を理解し実践できる人材の育成ノウハウ等を活かし、会員病

院・施設に対し少ないリスクで優秀な外国人介護人材を安定的に供給できるスキームを構築すべくプロジェクトは

進行中です。そして、その外国人介護人材が日本人と融和して活躍できるよう、管理、マネージメントを含めた、

包括的な会員サポート体制を検討してまいります。



医療人材国際交流協会 事務部会・看護部会が発足 — 協会の質向上へ —

本年より当協会は、「質の向上」をテーマに取り組んで参りたいと考えております。
今後の具体的な活動の柱のひとつとして、スケールメリットを生かしながら会員間の情報共有と意見交換の場として事務部会・看護部会を発足いたしました。それぞれ年3回程度の開催を予定しており、さらなる会員病院サポート体制の充実を図っていきます。

第1回事務部会開催報告

平成30年1月23日（火）

於：新宿京王プラザホテル

前日に関東近郊は大雪に見舞われ、開催が危ぶまれましたが、12法人15名の事務部長、採用担当の方々が出席しました。

事務部会は、病院ごとに課題が異なるため、事前に興味のあるテーマについてアンケートを実施しました（「事前アンケートの結果」参照）。今後の部会については、その結果を参考にしながら議論を進めていきたいと考えています。

今回は、顔合わせの意味合いが多かったように思われましたが、「奨学金の経理処理について」を皮切りに、12月に行われた理事会報告、2018年度にスタート予定の外国人介護人材プロジェクトについて等、各テーマごとに様々な議論をしていただける場となりました。特に外国人介護人材プロジェクトにおいては、協同組合の設立から来日する技能実習生の日本語レベルの問題など、多くの質問をいただき、プロジェクトに対する関心の高さが伺えました。

2時間に渡る会議の後懇親会となりましたが、こちらでも食事をしながら

様々な意見交換がなされました。外国人看護師の話題に留まらず、働き方改革や、診療報酬・介護報酬改定など話題は多岐に渡り、活発な意見交換の中で、病院の事務職ならではの悩みや苦勞諸々に共感する声が四方から聞こえてくる様子がとても印象的でした。

今年度の大きな柱としては、看護師採用後の育成・活用・離職防止と共同購買に関するところを中心としながら、参加する意義のある会合としていきたいと考えています。

事前アンケートの結果

「事務部会で取り上げて欲しいテーマは何ですか？」

- 会員病院での共同購入（発注ロットをまとめることでの経費削減策）
- 看護補助者の採用について（看護補助者の採用が難しくなっている）
- 診療報酬改定について
- 看護師の離職防止に対する各病院の取り組みについて
- 外国人の在留資格や就労ビサの研修会
- 外国人看護師を定着させるために会員病院が工夫していること



第1回看護部会開催報告

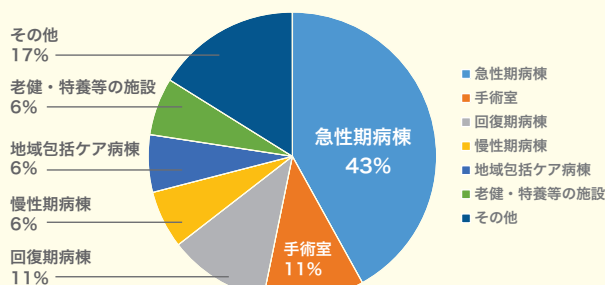
平成30年3月7日(水)

於…水道橋東京ドームホテル

10法人18名の看護部長他、教育、採用担当者の方に出席いただき、新日本学院看護コースの教員3名も参加しました。当日は、参加した全ての病院にスピーチをしてもらいました。中国人看護師を既に採用している病院は、採用後の育成方法や苦労話など、多くの実体験を有りのままお話しいただき、今年初めて採用する病院の関係者は、熱心にメモを取り、今年度より中国人看護師を採用するにあたり、大変参考になったとの声を多くいただきました。また今後、就職した学生のアフターフォローのために一斉帰校日を設けることや、看護コースの授業に病院の看護部長のご協力をいただくなど、病院と学校が今まで以上に連携して、学生の教育やフォローをしていくことも確認しました。



事前アンケートの結果 「外国人看護師の配属先はどこですか？」



「第13回東京都病院学会」ランチョンセミナー

外国人看護師受入れの期待、不安、育成

去る平成30年2月25日(日)アルカディア市ヶ谷にて行われた「第13回東京都病院学会」ランチョンセミナーにスポンサー企業として参加しました。

当協会の活動、実績が主催者側に認められ、初めての参加でしたが、約70名ほどの方々に中国人看護師採用に関する「期待、不安、育成」というテーマで座談会形式の講演を行いました。当日は、都内の会員病院、櫻井病院・中山看護部長、右田病院・内田看護部長、東京リバーサイド病院・鶴ヶ崎看護部長より、各病院が外国人看護師採用に至った経緯や苦労されたこと、採用して良かったことなどをそれぞれお話しいただきました。また、その後は、櫻井病院と東京リバーサイド病院に就職した中国人看護師お二人に、来日した理由や、日本の病院で働いてみての感想などを話してもらいました。本年度は、秋に行われます全日本病院学会のランチョンセミナーにおいても、スポンサー企業として参加予定となっています。



様々な活動の一部をご紹介します

協会便り

長沙日本語学校訪問

日本の看護師を目指す中国の看護師は、来日前に中国日本語学校でも日本語を学習します。10月28日、新日本学院の教職員が中国湖南省の日本語学校が主催する「スピーチコンテスト&シットコム大会」に審査員として参加しました。

どの学生の日本語もしっかりとしていて、兄弟や友人との身近な体験を通して自分が感じたことなどをテーマにしたスピーチは、どれも感動的でした。シットコムコンテストは、10以上のグループが、日本語の創作劇を表情豊かに演じていて、楽しむことができました。

日本語教育への取り組みは、授業だけでなく、学生の意欲を高める様々な工夫がされていることが印象的でした。



フェ医科薬科大学学長一行が 埼玉医大国際医療センターを訪問

11月1日、ベトナムのフェ医科薬科大学の学長一行が、当協会の会員病院である埼玉医科大学国際医療センターを訪問しました。同大学からは多くの卒業生が日本の看護師を目指して当プロジェクトに参加しています。

埼玉医科大学では、学長、国際医療センター病院長、看護部長ほか多くの先生と交流し、その後病院を見学しました。

また、前年、重篤な白血病のベトナム人患者を国際医療センターが受け入れて完治したことに関し、フェ医科薬科大学学長が、同じベトナム人として病院長と診療チームに対してお礼を述べられました。



新人看護師36名が誕生

4月1日、今年も36名の中国人看護師が（正看護師30名／准看護師6名）、20の病院に就職しました。これで、2013年に当プロジェクト出身の最初の中国人看護師が就職して以来、累計で101名の看護師が日本の病院への就職を果たしました。

異国の言葉を学び、異国の文化や習慣に順応し、異国の看護のやり方を実践するために、外国人看護師当人も、受け入れる病院スタッフも様々な努力を重ねています。それぞれ苦労はあるものの、一方では、外国人看護師が日本人看護師へのいい意味での刺激になっているという報告もあります。新人看護師の夢の実現と受け入れ病院の発展を、これからも応援していきたいと思います。



写真:旭ヶ丘病院で研修を受けている新人看護師
(前列左から2人目:李攀さん、3人目:李琴さん)

役員一覧

病院の声を外国人看護師育成にしっかりと反映できるプロジェクトにしていくため、そして協会の持続的な向上を目指すにあたり、理事会による協会運営としました。第4回定時社員総会にて選任され、それぞれ就任した5名の理事と監事を紹介します。



【会長】原田 雅義

社会医療法人東明会 原田病院 名誉理事長

昭和43年に原田病院を開院以来、看護師の確保は常に大きな課題でした。外国人看護師の活用で日本の看護師不足に一石を投じることができないかと、私自身も当協会の設立に係ってきました。当協会を通して社会に送り出した外国人看護師は100人を超えました。当協会も日本社会に一定の貢献ができつつあると感じています。関係各位には一層のご支援をお願いします。



【代表理事】畢 煜 (ビ・リー)

新日本学院校長 明晴国際語学学院理事長校長

7年前中国人看護師2名の受入からスタートしたこのプロジェクト。今年4月には40名が就職し、日本に送り出した外国人看護師の累計が100人を超えました。これまでの皆様のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。今後は、受験と就職（採用）の支援にとどまらず、就職後の外国人看護師・介護福祉士に対する支援、そして彼らを採用する病院・施設に対する支援を充実拡大し、少子高齢化を迎える日本社会に国際的人材交流を通して貢献して行きたいと考えています。



【理事】櫻井 秀樹

医療法人社団秀仁会 理事長

ちょうど7年前に原田先生達と中国の大連、長春等の看護大学や地元の関係者を訪問したのが昨日のように思い出されます。早いもので、最初の中国人の看護師が新日本学院から私の病院に入職してから5年が経ちました。その後、老健や特養でも学院の学生達が介護のアルバイトもするようになり、昨年は計60余人が当法人で働いています。社団法人が設立されて、私も役員の一端を担うようになりました。益々の発展を願っています。



【理事】右田 敦之

医療法人社団興和会 理事長

当会は発足から今日に至るまで地道で且つ実直な活動を通して会員医療機関様に対し、過不足無い実績を示してきたものと自負しております。生産年齢人口の減少に対応するためには、外国人の方々の有能なマンパワーが必要不可欠です。そのために、日本の文化教養も加味した教育体制を整えると共に、留学生の要望も十分に把握することで、より適正なマッチングに努めてまいります。



【理事】柿木 俊久

医療人材国際交流協会 事務局長

協会設立以来事務全般を担当してまいりました。理事就任にあたり、外国人医療人材の活用と活躍の支援という設立の初心に立ち返り、微力ながら協会の発展に貢献できればと考えております。



【監事】高根 宏

医療法人徳風会 理事長

外国人看護師が会員病院等で定着し、人材確保が円滑に進みますよう、監事としての役割を果たしてまいります。会員各位のご協力をお願いいたします。

+ + 新会員病院紹介



社会医療法人

河北医療財団



【概要】

所在地：杉並事業部（河北総合病院） 東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
多摩事業部（天本病院） 東京都多摩市中沢2-5-1

開設：1928年

代表者：理事長 河北 博文

経営理念：社会文化を背景とし 地球環境と調和したよりよい医療への挑戦

【入会の動機】

私たちは、杉並区の地域中核病院として地域住民のニーズに応えながら活動を拡大し、河北総合院（407床）を中心に8施設で急性期から在宅まで一貫した医療・介護・保健サービスを提供しています。多摩市では天本病院を中核とし、高齢化に対応した在宅訪問医療に力を入れています。労働人口が減少する昨今、医療の質向上に役割を果たす看護師の確保が一層重要となります。そこで日本での就労を希望する海外からの力に期待し入会させていただきました。外国人観光客も増加し、医療現場でのグローバルな会話力も重要となり、その一翼を担う人材としても期待しています。当財団では中国人看護師の採用に15年以上の実績があります。一緒に働きませんか。



医療法人積仁会

旭ヶ丘病院



【概要】

所在地：埼玉県日高市森戸新田99-1

開設：昭和30年

代表者：理事長 高木 進

経営理念：信頼と愛にあふれる医療・福祉の提供を継続し、地域に貢献します

【入会の動機】

以前は所属医師会の看護専門学校に就労学生として通学する学生が多かったです。しかし、近年、若い就労学生を確保することが難しくなっています。夜勤者を確保するためにも若い看護師を積極的に採用したいと考えていました。2年程前に医療人材国際交流会で志高い中国人看護師が真剣に学んでいる姿を見る機会があり、ぜひ採用したいと思いました。法人内には老人保健施設や訪問看護ステーションも併設しており、地域の医療・福祉において大きな役割を担っています。また、看護部では地域活動を積極的に行い地域住民の疾病予防にも力を入れています。今後は国籍に関係なく、日本の地域医療・福祉を担う人材を育てていきたいと考えています。



社会医療法人社団

光仁会



【概要】

所在地：東京都葛飾区東金町4-2-10

開設：昭和56年11月

代表者：理事長 野村 明子

【入会の動機】

光仁会は東京都葛飾区（第一病院）と茨城県守谷市（総合守谷第一病院）において地域に根差した医療を提供しています。近年、働き手不足が加速している中で当院においても中国人、フィリピンなど外国人の方が活躍しています。医療人材国際交流協会からお知らせをいただいた時はちょうど中長期的な看護職員の人材確保を考えている最中で、その後学校見学に伺った際、すぐに生徒さん達の能力に手応えを感じトントン拍子で話が進み入会することとなりました。当法人でもこのような形で雇用するのは今年が初めてです。職員全員で力を合わせて育てて行こうと楽しみにしています。これからも素晴らしい人材の育成、紹介を期待しています。



医療法人社団

寿光会



【概要】

所在地：千葉県いすみ市岬町桑田2531

開設：平成19年10月1日

代表者：理事長 作田 美緒子

経営理念：「安心・信頼・希望」

【入会の動機】

寿光会では長年看護学生の要請に力を入れてきました。学校に係る費用を奨学金により法人が立替え資格取得の応援を行っております。しかし、近年は「看護師になりたい」という方が減少しております。看護師採用の方策としてベトナム人看護師の受け入れを検討し2020年に数名受け入れる予定としています。しかし、申し込んでから4年経たないと受け入れできないこともあり現状の看護師不足を改善することができない中、医療人材国際交流協会からお知らせをいただき説明を受けた次第です。中国人の生徒さんは日本語レベルも高く入会して2年で採用が可能となるため人材不足の解消にはつながると思い入会いたしました。

特別寄稿

「医療人材国際交流協会への期待と激励」

医療法人社団永生会理事長 安藤高夫

この度、一般社団法人医療人材国際交流協会様のお仲間に加えていただきました医療法人社団永生会の安藤高夫です。現在、永生会では、外国人職員の採用として、27人の方々が医療そして介護に従事していただいております。

これまで各国とのEPA(経済連携協定)に基づき、インドネシアからは平成20年度より受入れ、フィリピンからは平成21年度より受入れ、ベトナムからは平成26年度より受入れを行ってきました。これは、国際社会への貢献という目的に加えて、国籍を問わずより質の高い看護や介護を提供できる人材の育成を行うこと、そして、現在の日本の医療機関にて大きな課題でもある、看護職及び介護職不足への一つの策となっているのも現実です。

また、国籍の異なる外国人を日本人の職場に受け入れることにより、職場の活性化につなげようという意図もあり、受け入れた職場では教育における負担はもちろんですが、それ以上に法人に大きな財産をもたらしてくれています。

一方で、日本における外国人職員の採用においては、大きな課題があります。例えば、前述の3か国の方にとっては、日本語という言語のハードルが高く、それが看護師国家試験合格を困難なものにしていると認識しています。そのような中、中国国籍の方は、漢字に慣れていることから、看護師国家試験の合格率が高いというデータも示されております。そのような経緯で、今般、貴協会に加入させていただきました。加えて、その中核機関である新日本学院様には大いに期待しているところであります。

貴協会では、先般、事務部会や看護部会といった情報交換の場も立ち上げられ、中国人職員のマネジメントをはじめ、それに関連する事項、あるいは中国人に限らず、各施設で課題になっている

ことへの対応等に関し、幅広く議論できる環境づくりを推進されていると伺っております。そういった貴協会の今後の活動や運営には大変注目しており、それらに対し、永生会としても協力を惜しまないつもりでおります。

永生会は地域包括ケアにおける急性期、回復期、慢性期、在宅、介護事業という、幅広い医療と介護を地域の皆様にご提供させて頂いております。最近ではアジアからも中国、韓国、台湾、シンガポールを始め、多くの国々とも交流を持たせていただいておりますが、今後もさらに諸外国との交流を深め、アジアの医療介護のお役に立てればと思っております。

最後になりましたが、今後とも、貴協会及び各協会員様のからのご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。



安藤 高夫 略歴

1984年3月
日本大学医学部卒業
1989年8月
医療法人社団永生会 理事長
2003年4月
公益社団法人全日本病院協会 副会長
一般社団法人東京都病院協会 副会長
2006年4月
一般社団法人日本慢性期医療協会 副会長
2014年12月
医療法人社団明生会 理事長
2016年6月
公益社団法人日本医師会 代議員
2017年10月
衆議院議員
2018年2月
公益社団法人東京都医師会 参与

医療人材国際交流協会のホームページを開設しました ホームページはこちら▷<http://iryojinzai.or.jp/>

一般社団法人 医療人材国際交流協会 会員病院一覧(入会順)

※2018年4月1日現在

会員法人	所在地	病院	入会年度
社会医療法人 東明会	埼玉県入間市	原田病院	2013
医療法人社団 秀仁会	東京都あきる野市	櫻井病院	2013
学校法人 埼玉医科大学	埼玉県入間郡毛呂山町	埼玉医科大学、国際医療センター、総合医療センター、丸木記念福祉メディカルセンター	2014
医療法人社団 徳風会	千葉県山武郡芝山町	高根病院	2014
医療法人財団 興和会	東京都八王子市	右田病院	2014
公益社団法人 東松山医師会	埼玉県東松山市	東松山医師会病院	2015
医療法人 三矢会	千葉県八街市	八街総合病院	2015
医療法人 瑞穂会	埼玉県川越市	城南中央病院、川越リハビリテーション病院	2015
社会医療法人社団 正志会	東京都荒川区	荒木記念 東京リバーサイド病院	2016
医療法人社団 健育会	東京都板橋区	熱川温泉病院、西伊豆健育会病院	2016
医療法人社団 愛語会	東京都豊島区	要町病院	2017
医療法人 美篤会	千葉県南房総市	中原病院	2017
医療法人社団 永生会	東京都八王子市	永生病院、南多摩病院	2017
社会医療法人 河北医療財団	東京都杉並区	河北総合病院、天本病院	2018
医療法人 積仁会	埼玉県日高市	旭ヶ丘病院	2018
社会医療法人社団 光仁会	東京都葛飾区	第一病院、総合守谷第一病院	2018
医療法人社団 寿光会	千葉県いすみ市	岬病院	2018

海を越えて 2018年春号
2018年5月1日発行

発行元：一般社団法人医療人材国際交流協会 住所 〒197-0013 東京都福生市武蔵野台1-3-2 TEL 042-513-7620
制作：株式会社エア・デザイン <http://www.airdesigns.co.jp>